

令和2年度 第4回古賀市図書館協議会(書面会議)ご意見に対する回答

令和3年3月31日

古賀市立図書館

館長 長崎 功一

委員からのご意見

1. 年1回程度、市民の図書館利用や新規事業実施等について、現場での様子を見学したい。

回答：各委員ご多用の中、会議開催時間を約1時間30分の目安で設定させて頂いておりますので、協議会の時間内に見学をご希望であれば、次回の協議会の際に見学等について協議をお願いできればと考えております。

また、ご希望があればいつでも図書館内をご案内いたしますので、お声かけいただければと思います。

2. 電子図書館サービスの活用について、活用方法の研修会等の開催はできないか。

回答：現在、「古賀市電子図書館利用案内」の冊子を配付し、貸出カウンター等で利用方法をお知らせしています。今後、利用状況を確認しながら検討したいと考えております。

3. 「図書館まつり」「ミニおはなし会」「講座」「読書ノートの配布とおはなし会の実施」等事業の継続。

回答：ご指摘のイベントについては今後も継続していきたいと考えております。「読書ノートの配布とおはなし会」については、利用案内とおすすめの本を記入した冊子を配布する予定です。

4. 図書館では、令和2年4月1日から5月18日まで臨時休館であったが、貸出人数123名の実勢の理由は。

回答：123名については、その時点において利用者が借りておられた本をwebにより貸出延長された件数です。

5. 暮らしの講座「終活入門」は、多様な範囲に及ぶ内容なので、今後、継続し質問時間をもっと増やすことを検討されては。

回答：次回の講座についても、「終活」を取り上げる予定です。前回の質問時間については、コロナ感染予防対策のため質問時間短縮としております。

6. 「えいごでおはなし会」「暮らしの講座」など開催されたが、参加できなかった市民の方々にも内容を紹介しては。オンラインでの実施の検討

回答：著作権等や講師との関係もあり今後の研究題材としたいと思います。

7. 図書館まつりの開催は毎年9月だが、10月の読書週間に併せては。

回答：他の図書館行事や次年度の予算も含めた計画立案の時期であり、現行のままでの実施を考えております。

8. 令和2年度活動目標「学校図書館市民開放用一般書の配本による学校開放支援」は、3年度活動目標に挙げられていないが。

回答：令和3年度は新たな目標を掲げたこともあり、活動目標にはあえて掲げておりませんが、今後も事業を継続する予定です。

9. 貸出冊数上限20冊は、有効性（20日間では読み切れない）や一部の利用者の大量貸出の危惧されることから、利用状況の検証が必要。

回答：図書館資料につきましては、貸出延長も可能であり、当面、この内容で運営していきたいと思えます。

10. 図書館運営方針の概要は理解できたが、例えば、利用者数向上の数値目標、地域情報拠点としての発信方法、子ども読書推進活動の活動内容など、次回報告してほしい。

回答：現在、多くの公共図書館において数値目標設定の在り方等についての協議がなされております。古賀市立図書館においても例外ではありませんが、例えば利用者満足度について調査する際どのような指標が良いか等について研究を行っており、更に進めて対応していきたいと考えております。

11. SNS、ツイッターでの図書館情報発信、図書館利用啓発ポスターコンテストの開催、映画の原作本特集と紹介、シリーズ小説の主人公紹介や特集等の企画による利用者増加を図ってみては。

回答：フェイスブック等による周知の回数増など検討したいと考えております。

12. 古賀地域の古代史等資料の充実を。

回答：全国的に各地域等においてその古代史資料の出版物が少ない状況で、残念ながら本市も例外ではありません。今後も、本市文化財担当（古賀市役所文化課文化財係）と協議し、情報収集につとめながら検討していきたいと思えます。